

NGU 教養スタンダード

NGU 教養スタンダード

本学のカリキュラムの特色のひとつとして、どの学部の学生でも学べる《NGU 教養スタンダード科目》を開設しています。《NGU 教養スタンダード科目》は、現代社会で生きていくために必要な知識と技術をしっかり身につけ、専門知識だけに偏らない豊かな人間性を育てるために、次のような 3 つの目標を掲げて、カリキュラムを編成しています。

- キリスト教主義にもとづいた豊かな人格の形成
- 社会生活に必要な知識や技術の修得
- 成熟した市民として必要な教養の養成

NGU 教養スタンダード科目の構成

キリスト教に関する科目

＜キリスト教＞に関する科目は、キリスト教主義大学である本学の核心です。必修科目の「キリスト教概説」「キリスト教学」では、世界の文明に大きな役割を果たしたキリスト教を、人間、歴史、社会、生命などとの関わりにおいて考え、世界に通用するしっかりとした人間観・世界観を築く足がかりとします。

自己理解と自己開発に関する科目

1 年生の必修科目である「基礎セミナー」では、少人数クラスで「大学で学ぶことの意義」について理解し、有意義な大学生活を送る足がかりを形成することを目的としています。さらに、大学での学びを促進させるスキルの習得をめざして、授業を受ける技術、プレゼンテーションの技法、情報検索の方法など、2 年次以上のゼミナール活動の基本となるスキルについて学ぶことを目標としています。また、「キャリアデザイン 1a～3b」などの科目を配置して、「将来なりたい自分とは何か」についてしっかりしたイメージを養うとともに、職業を考え将来のキャリアを設計するための足がかりとします。

社会的教養に関する科目

＜人間理解＞、＜社会理解＞、＜自然理解＞、＜歴史文化理解＞、＜環境理解＞、＜身体理解＞、＜地域理解＞

自分で考える力を養い、深みのある人間性を身につけるためには専門の学修だけでなく、一般教養の修得が欠かせません。文学、哲学、心理学を学ぶ＜人間理解＞、社会のしくみを考える＜社会理解＞、自然をさまざまな角度からながめる＜自然理解＞、人間や世界の文化や歴史を学ぶ＜歴史文化理解＞、地球環境や生態系について考察する＜環境理解＞、スポーツの実技と理論、健康について学ぶ＜身体理解＞、まちづくりを多様な視点から考える＜地域理解＞の中から、バランスのよい履修を心がけてください。

言語とコミュニケーションに関する科目

外国語については、「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「スペイン語」、「中国語」、「韓国語」の 6 カ国語を学ぶことができます（リハビリテーション学部、スポーツ健康学部は英語科目のみ）。また、「手話」や「日本語表現上級」も学修することができます。

情報理解に関する科目

情報教育の充実、本学の大きな特色です。全学生にノートパソコンを配付し、すべての学生がコンピュータを使って学べるように指導しています。必修科目の「情報処理基礎」では、コンピュータやネットワークの基本的な利用方法を半年間でマスターします。

教職に関する科目

ここに配置されている科目は教員免許取得をめざして教職課程に加入している者だけが受講できる科目です。実際に教員免許を取得するためには、教職課程履修規程にもとづき、この領域の科目に加えて、その他の指定された科目を履修する必要があります。

科目表の見方

各学部学科の科目表（P70以降）は以下の構成であらわしています。

- 授業科目名：その科目の名称をあらわしています。
- 単位数：その科目の単位数をあらわしています。
「1」と表記されていたら1単位科目であり、「2」と表記されていたら2単位科目となります。
- 配当年次：その科目が受講できる年次をあらわしています。
「2」と表記されていたら、2年生以上の学生が履修することができます。
- ナンバリング：その科目の科目ナンバーをあらわしています。
- 必修、選択：その科目が必修科目であるのか、選択科目であるのかをあらわしています。
必修の欄に単位数が記載されていたら、その科目は必修科目となります。
- 選択必修科目：この欄に選択必修科目について記載をしています。
- 卒業要件：その学部学科の卒業要件をあらわしています。

地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）

大学 COC 事業に関する 4 年間の学修について

文部科学省は現在、「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」を通じて、全学的に地域と連携した教育・研究・社会貢献に取り組む大学を支援しています。2013 年 8 月、名古屋学院大学は同事業に採択され、学生のみなさんが地域のことに興味関心を抱き、学修意欲を高められるカリキュラムを充実させました。これにより、企業が必要とする「社会人基礎力」が高まり、4 年後の就職にも有利となることをめざしています。

※ COC は Center of Community の略で、地域再生の核となる大学の意味です。

名古屋学院大学の取り組みの概要

本学の COC 事業はキャンパスの立地する名古屋市および瀬戸市を対象とし、両市が抱える地域の課題について、「地域商業」「歴史観光」「減災福祉」のまちづくりを通じて解決をめざすものです。

「地域商業まちづくり」・・・商店街活性化などを通じて地域経済効果の増大をめざします。
 「歴史観光まちづくり」・・・歴史の掘起しや地域資源の発掘により歴史観光を推進します。
 「減災福祉まちづくり」・・・災害に強いひとづくり・まちづくりをめざします。

学生のみなさんは、下図に示すカリキュラムにより、行政や地域（住民・企業・団体）とも連携・協力しながら学修を進めていきます。これらの授業においては、教室内での学修はもちろんですが、学外でのイベントやフィールドワークに参加する場合もあります。

COC に関するカリキュラムの流れ

カリキュラム	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
① 教育イベント「まちづくり提言コンペ」				
② 課題解決型授業（PBL）				
③ 地域志向型科目				
④ 教育イベント「地域フォーラム」				

- ① 全学生が参加する **1 年生の教育イベント**として、「基礎セミナー」において、名古屋市または瀬戸市にかかわる「**まちづくり提言コンペ**」を実施します。
- ② **課題解決型学習（PBL）**として、全学共通の《NGU 教養スタンダード科目》において、地域商業・歴史観光・減災福祉に関する「まちづくり学」「まちづくり演習」を開設するとともに、希望者は「上級まちづくり演習」で継続受講することも可能です。
- ③ 全学部で、地域を学習対象とした**地域志向型科目**を充実していきます。
- ④ 全学生が参加する **3・4 年の教育イベント**として、「演習」での課題研究の成果などを地域の方向けに発表する「**地域フォーラム**」を実施します。

地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）

COC+事業と 2018 年度のプログラム

「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」を踏まえ、地域と大学の連携をより深く進め、さらに地域での就業につなげるプログラムが COC+（プラス）事業です。

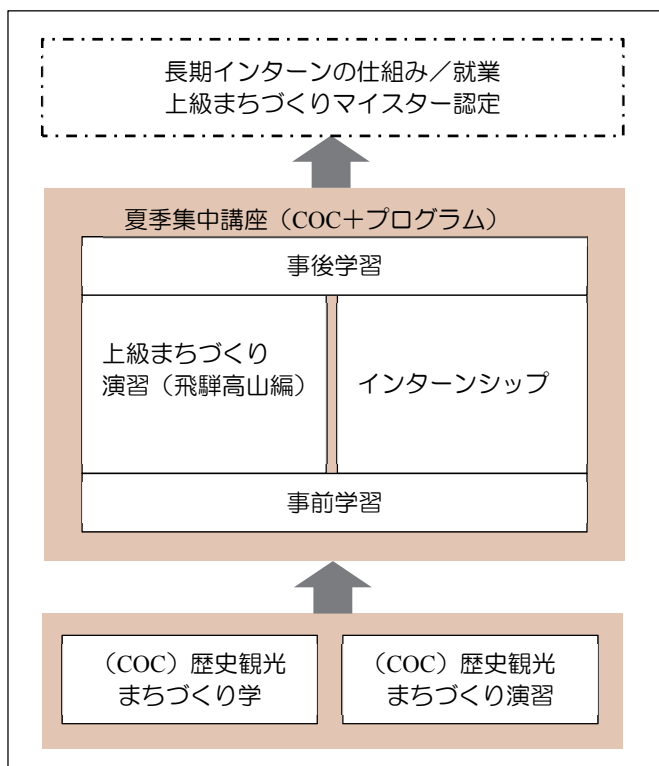
2018 年度 COC+プログラム

COC+のプログラムでは、大学 COC 事業で培った知識や経験を前段として、地域とともに将来の地域づくりを担う人材（上級まちづくりマイスター）を育成します。

2018 年度は、名古屋学院大学が COC 事業で地域づくりの題材とする「歴史観光」分野で開講します。古くから観光地域づくりで先進的な岐阜県高山市における観光地域づくり人材育成プログラムです。

COC+のプログラムは、COC 事業の「歴史観光まちづくり学」「歴史観光まちづくり演習」科目の単位を修得した学生または履修している学生が受講できます。名古屋キャンパスと瀬戸キャンパスの両方の学生が参加可能です。

高山市における COC+プログラム「上級まちづくり演習」「インターンシップ」の流れと特徴



《プログラムの特徴》

- 将来的に観光産業をめざすなら、日本有数の観光地で国内外からも注目の高い高山市で、観光産業にかかわる実務者とともに実践的な演習を受けられます。
- 将来的にサービス産業をめざす学生にとって、単なるアルバイト目線ではなく、サービス産業従事者の視点をもつチャンスです。観光地ならではの宿泊産業の体験をとおして、サービス業におけるサービスとは何か、ホスピタリティとは何かを考え、表現するスキルが身につきます。
- 高山市には観光産業をはじめ、多くの分野の企業があります。飛騨高山や下呂などの出身の学生にとっては、自分の地域をよりよく知り、魅力を発見する機会になります。

マイスター認定制度

初級まちづくりマイスター

COC カリキュラムで開講中の「地域商業」「歴史観光」「減災福祉」の授業では、「まちづくり学」「まちづくり演習」の両方を履修し単位修得した学生に対し、「初級まちづくりマイスター」を認定します。

上級まちづくりマイスター

COC 事業で初級まちづくりマイスターを認定された者のうち、「上級まちづくり演習」を履修し単位修得すること、かつ公的な社会的活動に従事したり公的資格の取得をした学生を対象に、「上級まちづくりマイスター」を認定します。

商学部 商学科

教育目標（学則第3条の2より）

商学科は、幅広い教養と商学、経営、情報、会計に関する基礎ならびに専門知識を身につけ、変動やまなない国際社会、情報社会のなかで、理論的背景をもち、多様な社会的ニーズに応えうる人材の育成を教育目標とする。

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

商学科に所属する学生は、学部および学科のカリキュラムを履修、学修することをおして、以下の能力が獲得できる。これに併せて、卒業に必要とされる所定の単位と要件を満たした学生には商学部から学士（商学）の学位が授与される。

知識・技能

- 1) 建学の精神に基づく教育を基礎としたカリキュラムの履修により、広い視野および豊かな倫理観と教養を持って行動することができる。
- 2) 商学・経営学・会計学における高度な学術理論およびその実践について学修し、企業や産業が直面する問題の本質を正しく理解することができる。
- 3) 修得した知識や技能を活用して、商学・企業経営に関する諸問題に対する解決策を探索する能力を身に付けることができる。

思考力・判断力・表現力

- 1) 実際の企業経営について、自ら課題を見つけて解決していくために必要な思考力・判断力・行動力を身に付けることができる。
- 2) 自己の課題解決に対する取り組みおよびその成果を論理的に他者に説明することができる。

主体性・多様性・協働性

- 1) 産業および企業経営の持続的成長が社会経済の健全な発展に大きく影響を与えることを自覚して、商学・企業経営に関する多様な理論・実践を学修し、それらを組み合わせて問題解決する能力を身に付けることができる。
- 2) 主体性を持って、他者および地域との協働のもと、問題解決に取り組むことができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

商学科における専門教育の展開については、1年次に商学部教育の基盤となる必修科目を履修する。ビジネスマネジメントコースおよびスポーツマネジメントコースのいずれかに所属し、2年次から基礎から応用までの科目を段階的かつ体系的に履修する。さらに高度専門プログラムにおいて企業経営の実践的知識を学修する科目を配置し、学生は自己の学修上の関心および卒業後の進路に応じて必要な科目を選択して履修する。

このような専門教育を含めて、ディプロマ・ポリシーで掲げた目標を達成するために、次のような教育内容、教育方法、学修成果の評価の方針に基づき、カリキュラムの編成と授業の実施をする。

教育内容

- 1) カリキュラムは、成熟した市民としての基礎的素養を修得する《NGU 教養スタンダード科目》、商学部の2学科に共通して必要な知識・技能を修得する《学部共通科目》、商学科の専門性を深める《学科選択科目》から学ぶ。
- 2) 《学部共通科目》においては、商学部の専門教育の基盤を身に付けるために「商学総論1・2」「経営学総論1・2」「簿記入門」「会計学入門」および「経済学1・2」を履修する。
- 3) 《学科選択科目》においては、基礎科目（コース別）、展開科目（ゼミ・分野別）、実践の視点、専門能力開発プログラム、関連科目およびビジネス外国語を配置している。
- 4) 《基礎科目》および《展開科目》においては、コース別に専門科目を配置している。ビジネスマネジメントコースでは、商学・流通、経営、金融・財務および会計の専門科目から構成されている。スポーツマネジメントコースでは、スポーツマネジメントの理論と実践に関する科目および保健体育の理論と実技に関する科目を設けている。
- 5) 《実践の視点》は、企業経営の実践体験および実務家による指導のための科目を配置している。また《専門能力開発プログラム》においては、社会で活躍するために必要な商学、企業経営、会計に関する実践的知識および資格を修得するための科目を履修する。《ビジネス外国語》では、ビジネスにおいて役に立つ英語・韓国語・中国語を学修する。

教育方法

- 1) それぞれの授業においてあらかじめ示された教育目標を達成させるとともに、個々の学生の学習進度に即して適切な課題を与えることで、主体的な学習を支援する。
- 2) 講義科目においては、小テストやレポートを通して受講生の学習状況や理解度の把握に努める。演習科目については、担当教員が学生相互の議論を誘導し、集団討議や成果発表を行う。
- 3) 経営実践に関する知識の獲得およびその定着を促進するために、実社会を見聞する機会を設ける。
- 4) 社会で活躍するために必要な商学、企業経営、会計に関する実践的知識および資格を修得するための少人数講義を設ける。

学修成果の評価

- 1) 各科目の評価は、原則として平常点および期末試験等による総合評価により行われる。
- 2) 各科目について、その内容、到達目標、成績の評価方法と基準をシラバス等で公開して学生に周知した上で、厳格な成績評価を行う。

アドミッション・ポリシー（入学受入方針）

求める学生像

商学科では、国際的なビジネスの現場で活躍し、社会経済の健全な発展に寄与することを希求する者、具体的な下記の要件を備えた者を入学者として受け入れの対象とする。

- 1) 建学の精神に沿った豊かな人間性と誠実さをもち、社会の役に立つことを実行しようとする高い志があること
- 2) 現実の経済および企業経営の実践に対する探究心が旺盛で、国際的視野に富み、進んで真理を探究する意欲と能力があること
- 3) 問題解決能力を身につけさせる本学部教育方針のもとで、学習に必要な基礎的知識・論理的思考力・コミュニケーション能力を備えていること
- 4) 本学部で修得した専門的知識および実践的問題解決能力を、国際社会および地域社会の将来に役立てようという強い意志をもつこと

入学時までに身に付けるべき知識、能力等

- ・社会関連科目を履修し、経済および企業経営に関する基礎知識を習得していることが望まれる。
- ・情報関連科目を履修し、ICTの経済・経営への影響を理解していることが望まれる。
- ・国語などの学習によって、筋道の立った文章が書けることが望まれる。

入学者選抜

- 1) 公募型推薦入試は、高等学校等における学習意欲や学習態度を基礎資料とし、面接により入学者を選抜する。
- 2) 上記以外の推薦入試として、本学第1志望者を対象とし、書類審査（調査書等）、面接、小論文により、高等学校でのスポーツや文化・芸術活動等を評価する制度もある。
- 3) 特別奨学生入試は、書類審査（調査書等）、学力試験および面接により、入学者を選抜する。
- 4) 一般入試およびセンター試験利用入試では、学力試験、大学センター試験による学力検定を経て入学者として選抜する。

カリキュラムの概要

商学科の特色

商学科は、幅広い教養と商学、経営、情報および会計に関する基礎ならびに専門知識を身につけ、変動やまな国際社会、情報社会の中で、理論的背景をもち、多様な社会的ニーズに応えうる人材の育成を教育目標とします。これを効果的かつ効率的に達成するために次の2つのコースを設置しています。第1は、商学、経営学および会計学の各分野の諸理論を学習するとともに、地域経済、市場ならびに企業経営における実際の諸問題を解決できる能力を身につけるビジネスマネジメントコースであり、第2は、商学・経営学にもとづいて保健体育およびスポーツを多面的に学習し、スポーツに関するマネジメント能力を身につけるとともに、健康増進へのスポーツの貢献について多角的に学習するスポーツマネジメントコースです。

商学科の科目

商学科のカリキュラムは、《NGU 教養スタンダード科目》と《専門科目》に大別され、さらに《専門科目》は《学部共通科目》と《学科選択科目》という2つの科目区分によって構成されます。

専門科目

- ① 《学部共通科目》には、「商学総論1・2」「経営学総論1・2」「簿記入門」「会計学入門」および「経済学1・2」を配置しています。いずれも必修科目であり、商学の基礎を学修します。
- ② 《学科選択科目》は、《基礎科目（コース別）》《展開科目》《実践の視点》《専門能力開発プログラム》《関連科目》および《ビジネス外国語》から構成されています。
 - a) 《基礎科目（コース別）》に関し、ビジネスマネジメントコースでは、経営戦略、マーケティング、流通、金融、会計に関する《専門科目》を配置しています。スポーツマネジメントコースでは、「スポーツ経営管理学」「スポーツマーケティング」「スポーツ実技」などスポーツマネジメント、保健体育、スポーツ実技に関する《専門科目》を配置しています。
 - b) 《展開科目》には、「専門演習」（ゼミ）および商学の専門分野別（＜商学・流通＞、＜経営＞、＜金融・財務＞、＜会計＞および＜スポーツ・マネジメント＞）諸科目を配置しています。「専門演習」（ゼミ）は、学生各自が関心を有する専門的な内容を学び取るために、2年間（3・4年次）にわたって少人数でテーマに関する調査、報告、議論、講読をおこないます。学生は、「専門演習」（ゼミ）における学修・研究の成果を発表するために卒業論文を作成・提出します。
 - c) 《実践の視点》の諸科目では、企業の経営管理者の講義など、実際に企業でどのような業務が行われているかなどを学修します。

- d) 《専門能力開発プログラム》には、会計、マネジメント、マーケティング、語学に関する専門講座を配置しており、各自の進路に応じて履修します。
- e) 《関連科目》は、商学に関連する科目から構成され、各自の進路、学修上の関心に応じて履修します。
- f) 《ビジネス外国語》には、ビジネス英語、ビジネス中国語およびビジネス韓国語を学修する科目が配置されています。

カリキュラム上の特色

履修コース

商学科は、ビジネスマネジメント全般およびスポーツマネジメントを効果的かつ効率的に学修できるように、ビジネスマネジメントコースとスポーツマネジメントコースを設けています。

- 1) ビジネスマネジメントコースは、商学および経営学に関する専門知識を幅広く学修し、卒業後、いずれの産業分野においても活躍できる人材を育成します。
- 2) スポーツマネジメントコースは、商学・経営学関連科目、スポーツマネジメント関連科目、保健体育関連科目を学修し、卒業後、スポーツ産業で活躍する人材、地域スポーツのリーダー、中学校・高校の保健体育の教員を育成します。

また《専門科目》の履修では、系統的に学修を進めなければ、効果的な成果を得られないと判断される科目について、履修の順序が規定されています。下表に示す科目は A の科目→B の科目→C の科目の順に履修し、それぞれの単位を修得しなければ次の科目の履修ができません。

科目によっては**シラバスで前提科目**の履修を求められている場合がありますので、注意が必要です。

履修順序指定科目（商学科）

下表の科目は A → B → C の順序に履修すること

A		B		C	
授業科目	配当年次	授業科目	配当年次	授業科目	配当年次
簿記入門 会计学入門	1	簿記 1・2・3・4	2		
		簿記 5・6	3		
		工業簿記 1・2	2		
		財務諸表論 1・2	2		
		財務諸表論 3・4	3		
		簿記論 1・2	2		
		簿記論 3・4	3		
商学総論 1・2	1	商業経営講座基礎 1・2	2	商業経営講座上級 1・2	2
経営学総論 1・2	1	経営学講座基礎 1・2	2	経営学講座上級 1・2	3

他学科開講科目の履修

商学部ではコース限定の科目がある反面、他学科科目の履修が認められており、《自由選択科目（フリーゾーン）》として卒業要件にも含まれます。履修には本人の申し出が必要となります。履修登録期間または履修登録変更期間に教務課窓口で申し込んでください。

学部専門科目への認定

社会で役立つ実践的な教育を重視している商学部では、さまざまな資格取得のためのバックアップをしています。教育課程（カリキュラム）の中で、各種の資格検定試験に向けての指導をおこなうほか、学部が指定した資格検定試験に合格した場合には、みなさんからの申請にもとづき、所定の単位を認定（R 評価として認定）する制度があります。

次に掲げる簿記検定試験および税理士試験の合格者または科目合格者については、簿記の授業科目の単位を修得したものとして認定しています。認定を希望する学生は定められた期間内に検定合格を証明する通知・証書原本と、そのコピーを持参し、教務課に申請してください。

- この場合認定される授業科目の履修登録は不要です。
- 教職課程加入者（希望者）については、教員免許申請に「認定」科目を含められないため、教員免許要件上必修である「簿記 1・2」は認定しません。
- 申請できるものは、申請日以前 2 年以内に取得したものにかぎります。
（ただし、入学前に取得した資格等は、入学年度にかぎり受けつけます。翌年度以降の申請は受けつけません。）

	単位認定の対象となる資格検定試験など	認定される 授業科目	認定される 単位数合計
1	日本商工会議所簿記検定試験 2 級	簿記 1・2（各 2 単位）	4 単位
2	全国経理学校協会簿記能力検定試験 1 級（全科目）	簿記 1・2（各 2 単位）	4 単位
3	全国商業高等学校協会簿記実務検定試験 1 級（全科目）	簿記 1・2（各 2 単位）	4 単位
4	日本商工会議所簿記検定試験 1 級	簿記 1～4（各 2 単位）	8 単位
5	全国経理学校協会簿記能力検定試験上級	簿記 1～4（各 2 単位）	8 単位
6	税理士試験簿記論	簿記 1～6（各 2 単位）	12 単位

演習科目について

「基礎セミナー」

1 年次配当の必修科目です。授業は少人数でおこなわれ、導入・基礎教育を主要な目的にします。大学では、自分で調べ、考え、整理し、論理的に文章をまとめることが求められるようになります。「基礎セミナー」では、大学での学習方法、レポートの書き方、個人やグループでおこなう発表方法などを身につけます。さらに、学生生活を送る上での基本的な心構え（ソーシャル・スチューデント・スキル）を養います。

「専門演習」

1) 専門演習とは

「専門演習」（ゼミ）は、3・4 年次の 2 年間受講し、社会で活躍できる知識の獲得および人格形成に向けた「学び」を展開します。ゼミは少人数でおこない、専門的なテーマについて深く研究します。さらに、学生の研究発表を中心にし、教員とゼミ生との間、ゼミ生間のディスカッションを活発におこないます。かくして、ゼミは切磋琢磨の場であり、その結果、ゼミ生の間には強い仲間意識が醸成されます。

「専門演習」（ゼミ）には、多種多様なゼミナールを配置し、ほぼ全員がいずれかのゼミに加入しています。詳細は、2 年次秋学期におこなう「専門演習」（ゼミ）に関するガイダンスなどで指示・連絡します。

2) 専門演習の履修にあたって

1. ゼミの選択：「専門演習」（ゼミ）は学科専門教育の仕上げにあたる部分であり、主体的で積極的な研究態度が要請され

ます。自己の研究課題を考え、各ゼミのテーマを調べ、各自に有意義と思われる「専門演習」(ゼミ)に
応募してください。

2. 定員 : 担当する教員数によって変わりますが、通常1ゼミ15名程度を募集します。
3. 募集 : 2年次秋学期にCCSより募集がありますので、案内を見逃さないように注意しましょう。
- (1) 選考
各「専門演習」(ゼミ)指導教員による書類選考、または面接による選考がおこなわれます。
希望の「専門演習」(ゼミ)がいずれも定員超過の場合、他の「専門演習」(ゼミ)に所属が決定する場合があります。
- (2) 発表
11～12月
4. 資格 : 2年次終了時において総修得単位数が40単位に満たない時はゼミを履修できません。
選考において合格(内定)していても、内定は「取り消し」となります。
5. 卒業論文 : 2年間の指導を受けながら、4年次にはゼミの研究を論文(通称ゼミ論文)にまとめます。
この論文を担当教員に提出することで、2年間の研究の評価を受け、単位が認定されます。

履修モデル

商学科

学部共通科目

「商学総論1・2」「経営学総論1・2」「簿記入門」「会計学入門」および「経済学1・2」

学科選択科目

以下の分野で多くの科目が用意されています。

- 基礎科目(コース別)
- 展開科目(ゼミ・分野別)
- 実践の視点
- 専門能力開発プログラム
- 関連科目
- ビジネス外国語

(1) ビジネスマネジメントコース

- ① 《展開科目》は<商学・流通>、<経営>、<金融・財務>および<会計>の専門科目から構成されています。
学修上の関心などに従って、適切な履修計画を立ててください。
- ② さらに《実践の視点》、《専門能力開発プログラム》、《関連科目》、《ビジネス外国語》において、高度で実践的なビジネス理論と実践を学修できます。各自の進路に応じて、体系的でバランスのとれた履修計画を立ててください。

(2) スポーツマネジメントコース

a) 保健体育教員をめざす学生

- ① スポーツマネジメントコースのための科目には、保健体育の理論と実技に関する科目を配置しています。それらをしっかりと学修してください。
- ② 次の諸科目は、履修することが望ましい講義です。
《基礎科目(コース別)B類》
「スポーツ経営管理学」「バイオメカニクス」「体カトレーニング論」「スポーツ実技(水泳)」
「スポーツ実技(体づくり運動)」「スポーツ実技(器械運動)」「スポーツ実技(球技)」「スポーツ実技(武道)」
「スポーツ実技(ダンス)」「スポーツ実技(陸上)」
《展開科目(スポーツ・マネジメント)》

「スポーツ原理」「スポーツ心理学」「コーチング学」「体育社会学」「スポーツ教育行政論」「解剖・生理学」
「衛生・公衆衛生学」「予防医学」「学校保健」「学校安全」

b) スポーツビジネスをめざす学生

① 次の諸科目は、履修することが望ましい講義です。

《基礎科目（コース別）B 類》

「スポーツ経営管理学」「スポーツ経営論」「スポーツマーケティング」

《展開科目（スポーツ・マネジメント）》

「スポーツ心理学」「コーチング学」「生涯スポーツ論」「地域スポーツ論」「解剖・生理学」「スポーツ指導論」

「体力測定評価」「運動処方学」「スポーツ栄養学」

② 《展開科目》におけるマネジメント関連科目の受講によってスポーツマネジメントの理論と実践をしっかりと学修してください。

卒業要件

卒業要件単位の修得

商学部のカリキュラム表にもとづいて必要な単位数（124 単位）以上を修得しなければなりません。

卒業要件単位数

上記の、学則第 16 条に規定する単位数（124 単位）を卒業要件単位数といいます。それぞれの単位数には必修科目を含みます。授業科目表と照らして区分ごとの要件をよく確認し、4 年間の履修計画をしっかりと立ててください。

〈商学科 ビジネスマネジメントコース・スポーツマネジメントコース〉

NGU教養 スタンダード科目	キリスト教		4単位以上	34単位以上
	自己理解と自己開発		6単位以上	
	社会的教養	人間理解、社会理解、自然理解 歴史文化理解、環境理解 身体理解、地域理解	16単位以上	
		教職※ ¹		
		言語とコミュニケーション		
	情報理解		2単位以上	
学部共通科目			16単位	
学科選択科目	①コース基礎科目		10単位以上	50単位以上
	②展開科目、実践の視点、専門能力開発プログラム、関連科目、及びビジネス外国語		40単位以上	
自由選択科目(フリーゾーン)※ ²				24単位以上
合計				124単位以上

※¹ 教職課程加入者のみ履修可。8単位までは社会的教養の単位とすることができる。

※² NGU教養スタンダード科目、学部共通科目、学科選択科目、オープン科目を問わない自由な選択

◆コース基礎科目

- ・ビジネスマネジメントコース：A類から10単位以上
- ・スポーツマネジメントコース：A類から4単位以上、B類から6単位以上

◆展開科目

「スポーツ・マネジメント」はスポーツマネジメントコースのみ履修可
(ビジネスマネジメントコースは履修不可)

商学科 NGU教養スタンダード科目

授業科目名		単位数		配当 年次	ナンバ リング
		必修	選択		
キリスト教					
キリスト教概説	2		1	AV1101	
キリスト教概説	2		1	AV1102	
キリスト教と文学		2	2	AV2301	
キリスト教と文化		2	2	AV2302	
キリスト教倫理		2	2	AV2303	
キリスト教史		2	1	AV1301	
自己理解と自己開発					
基礎セミナー	2		1	AW1101	
発展セミナー		2	1	AW1301	
キャリアデザイン1a		2	1	AW1302	
キャリアデザイン1b		2	1	AW1303	
キャリアデザイン2a		2	2	AW2301	
キャリアデザイン2b		2	2	AW2302	
キャリアデザイン3a		2	3	AW3301	
キャリアデザイン3b		2	3	AW3302	
能力開発1		2	1	AW1601	
能力開発2		2	1	AW1602	
能力開発3		2	1	AW1603	
ボランティア学		2	1	AW1304	
ボランティア演習		2	1	AW1305	
インターンシップ1		2	1	AW1306	
インターンシップ2		2	1	AW1307	
社会的教養					
人間理解	哲学		2	1	AX1301
	哲学史		2	1	AX1302
	心身関係論		2	1	AX1303
	日本文学		2	1	AX1304
	日本文学史		2	1	AX1305
	心理学概論		2	1	AX1306
	現代日本文化論		2	1	AX1307
	比較文化入門		2	1	AX1308
	多文化共生論		2	1	AX1309
	文明論		2	1	AX1310
	宗教と人間		2	1	AX1311
	聖書と人間		2	1	AX1312
	キリスト教人間学		2	2	AX2301
	死生学		2	1	AX1313
臨床心理学		2	1	AX1314	
社会理解	社会学入門		2	1	AX1315
	宗教社会学		2	1	AX1316
	比較宗教学		2	1	AX1317
	日本国憲法		2	1	AX1318
	現代社会と法律		2	1	AX1319
	暮らしと法律		2	1	AX1320
	現代社会と経済		2	1	AX1321
	経済の仕組み		2	1	AX1322
	企業と社会		2	1	AX1323
	国際関係論入門		2	1	AX1324
	国際政治学		2	1	AX1325
	国際社会入門		2	1	AX1326
	国際社会問題		2	1	AX1327
	現代社会と教育		2	1	AX1328
	平和学入門		2	1	AX1329
	人権と社会		2	1	AX1330
自然理解	数学		2	1	AX1331
	数理科学		2	1	AX1332
	基礎統計学		2	1	AX1333
	実用統計学		2	1	AX1334
	化学		2	1	AX1335
	化学と社会		2	1	AX1336
	生物学		2	1	AX1337
	地球科学概論		2	1	AX1338
	地球物理学概論		2	1	AX1339
	人類学		2	1	AX1340
	物理学		2	1	AX1341
	科学史		2	1	AX1342
	生命倫理		2	1	AX1343

授業科目名		単位数		配当年次	ナンバリング
		必修	選択		
歴史文化理解	日本史		2	1	AX1344
	日本思想史		2	1	AX1345
	日本文化史		2	1	AX1346
	中国文化入門		2	1	AX1347
	英米文化入門		2	1	AX1348
	文化人類学入門		2	1	AX1349
	世界の近現代史		2	1	AX1350
	世界史		2	1	AX1351
	考古学入門		2	1	AX1352
	陶芸論		2	1	AX1353
環境理解	陶芸演習		2	1	AX1354
	環境科学		2	1	AX1355
	生態学		2	1	AX1356
	地域生態論		2	1	AX1357
身体理解	地球環境学		2	1	AX1358
	健康の科学		2	1	AX1359
	スポーツの科学		2	1	AX1360
	スポーツ初級A		1	1	AX1361
	スポーツ初級B		1	1	AX1362
	スポーツ中級A		1	2	AX2302
	スポーツ中級B		1	2	AX2303
	スポーツ上級A		1	3	AX3301
地域理解	スポーツ上級B		1	3	AX3302
	地域商業まちづくり学		2	1	AX1363
	歴史観光まちづくり学		2	1	AX1364
	減災福祉まちづくり学		2	1	AX1365
	地域商業まちづくり演習		2	1	AX1366
	歴史観光まちづくり演習		2	1	AX1367
	減災福祉まちづくり演習		2	1	AX1368
言語とコミュニケーション	上級まちづくり演習		2	2	AX2304
	日本語表現	2		1	AJ1101
言語とコミュニケーション	日本語表現上級		2	1	AJ1301
	基礎英語1	1		1	AJ1102
	基礎英語2	1		1	AJ1103
	英会話1	1		1	AJ1104
	英会話2	1		1	AJ1105
	実用英語演習1		1	2	AJ2301
	実用英語演習2		1	2	AJ2302
	情報英語演習1		1	2	AJ2303
	情報英語演習2		1	2	AJ2304
	ドイツ語1		1	2	AJ2305
	ドイツ語2		1	2	AJ2306
	フランス語1		1	2	AJ2307
	フランス語2		1	2	AJ2308
	スペイン語1		1	2	AJ2309
	スペイン語2		1	2	AJ2310
	中国語1		1	2	AJ2311
	中国語2		1	2	AJ2312
	韓国語1		1	2	AJ2313
	韓国語2		1	2	AJ2314
	手話入門		1	1	AJ1302
	手話基礎		1	1	AJ1303
情報理解					
情報処理基礎		2		1	AZ1101
情報概論			2	2	AZ2301
教職					
教職論			2	1	BQ1401
教育原理			2	1	BQ1402
教育心理学概論1			2	1	BQ1403
教育心理学概論2			2	1	BQ1404
教育制度論			2	1	BQ1405
特別活動論			2	2	BQ2401
教育の方法と技術			2	2	BQ2402
道徳教育論			2	2	BQ2403
生徒・進路指導論			2	2	BQ2404
教育相談			2	2	BQ2405

商学科 専門科目

授業科目名		単位数		配当年次	ナンバリング
		必修	選択		
学部共通科目	商学総論1	2		1	CS1101
	商学総論2	2		1	CS1102
	経営学総論1	2		1	CS1103
	経営学総論2	2		1	CS1104
	簿記入門	2		1	CS1105
	会計学入門	2		1	CS1106
	経済学1	2		1	CS1107
	経済学2	2		1	CS1108
基礎科目（コース別）	A類				
	会計基礎論		2	2	CS2301
	財務会計論		2	2	CS2302
	国際会計論		2	3	CS3301
	マーケティング論1		2	2	CS2303
	マーケティング論2		2	2	CS2304
	流通論		2	2	CS2305
	商業史		2	2	CS2306
	経営管理論		2	2	CS2307
	経営戦略論		2	2	CS2308
	経営史		2	2	CS2309
	金融基礎論		2	2	CS2310
	証券市場論		2	2	CS2311
	国際資本市場論		2	2	CS2312
	B類				
	スポーツ経営管理学		2	1	CN1301
	スポーツ経営論		2	2	CN2301
	スポーツマーケティング		2	2	CN2302
	バイオメカニクス		2	2	CN2303
	体カトレーニング論		2	2	CN2304
	健康管理論		2	2	CN2305
	トレーニング科学		2	2	CN2306
	スポーツ実技（水泳）		1	1	CN1302
	スポーツ実技（体づくり運動）		1	1	CN1303
	スポーツ実技（器械運動）		1	1	CN1304
	スポーツ実技（陸上）		1	1	CN1305
	スポーツ実技（球技）		1	1	CN1306
	スポーツ実技（武道）		1	1	CN1307
	スポーツ実技（ダンス）		1	1	CN1308
展開科目	ゼミ				
	専門演習		12	3・4	CS3302・CS4301
	商学・流通				
	マーケティング戦略論		2	3	CS3303
	マーケティング・マネジメント		2	2	CS2313
	国際マーケティング論		2	2	CS2314
	マーケティング・コミュニケーション		2	3	CS3304
	消費者行動論		2	2	CS2315
	流通政策論		2	2	CS2316
	流通システム		2	2	CS2317
	国際流通論		2	3	CS3305
	サービスマネジメント		2	2	CS2318
	商品政策論		2	3	CS3306
	リテールマーケティング		2	2	CS2319
	ロジスティクス		2	2	CS2320
	経営				
	経営組織論		2	2	CS2321
	現代企業論		2	2	CS2322
	人的資源管理論		2	3	CS3307
	労使関係論		2	3	CS3308
	国際経営論		2	2	CS2323
	生産管理論		2	3	CS3309
	中小企業論		2	3	CS3310
	組織行動論		2	3	CS3311
	財務管理論		2	2	CS2324
	コーポレート・ファイナンス		2	2	CS2325

授業科目名		単位数		配当年次	ナンバリング
		必修	選択		
展開科目	金融・財務				
	金融システム論		2	2	CS2326
	証券投資論		2	3	CS3312
	ポートフォリオ・マネジメント論		2	3	CS3313
	国際金融論		2	3	CS3314
	外国為替論		2	3	CS3315
	会計				
	特殊会計		2	3	CS3316
	財務諸表分析		2	3	CS3317
	簿記1		2	2	CS2327
	簿記2		2	2	CS2328
	簿記3		2	2	CS2329
	簿記4		2	2	CS2330
	簿記5		2	3	CS3318
	簿記6		2	3	CS3319
	工業簿記1		2	2	CS2331
	工業簿記2		2	2	CS2332
	管理会計基礎論		2	2	CS2333
	管理会計システム論		2	2	CS2334
	原価計算基礎論		2	2	CS2335
	原価計算システム論		2	2	CS2336
	コンピュータ会計		2	2	CS2337
	コンピュータ会計演習		2	3	CS3320
	会計情報システム		2	3	CS3321
	会計監査論		2	3	CS3322
	監査システム論		2	3	CS3323
	スポーツ・マネジメント				
	スポーツ原理		2	1	CN1309
	スポーツ心理学		2	1	CN1310
	コーチング学		2	2	CN2307
	体育社会学		2	2	CN2308
	スポーツ教育行政論		2	2	CN2309
	生涯スポーツ論		2	2	CN2310
	地域スポーツ論		2	2	CN2311
	解剖・生理学		2	2	CN2312
	衛生・公衆衛生学		2	2	CN2313
	予防医学		2	2	CN2314
	学校保健		2	2	CN2315
	学校安全		2	2	CN2316
	スポーツ指導論		2	2	CN2317
	健康運動教育論		2	2	CN2318
	体力測定評価		2	1	CN1311
	運動処方学		2	1	CN1312
	スポーツ栄養学		2	1	CN1313
	発育発達論		2	1	CN1314
実践の視点	経営実践特講1		2	2	CS2338
	経営実践特講2		2	2	CS2339
	経営管理特講1		2	2	CS2340
	経営管理特講2		2	2	CS2341
	スポーツ特講1		2	2	CS2342
	スポーツ特講2		2	2	CS2343
専門能力開発プログラム	財務諸表論1		2	2	CS2344
	財務諸表論2		2	2	CS2345
	財務諸表論3		2	3	CS3324
	財務諸表論4		2	3	CS3325
	簿記論1		2	2	CS2346
	簿記論2		2	2	CS2347
	簿記論3		2	3	CS3326
	簿記論4		2	3	CS3327
	経営学講座基礎1		2	2	CS2348
	経営学講座基礎2		2	2	CS2349
	経営学講座上級1		2	3	CS3328
	経営学講座上級2		2	3	CS3329

授業科目名		単位数		配当 年次	ナンバ リング
		必修	選択		
専門 能力 開発 プログ ラム	商業経営講座基礎1		2	2	CS2350
	商業経営講座基礎2		2	2	CS2351
	商業経営講座上級1		2	2	CS2352
	商業経営講座上級2		2	2	CS2353
	外書講読基礎		2	3	CS3330
	外書講読上級		2	3	CS3331
	経営分析演習		2	3	CS3332
関 連 科 目	海外事情1		4	1	CS1601
	海外事情2		4	1	CS1602
	海外事情3		4	1	CS1603
	海外事情4		4	1	CS1604
	海外事情5		4	1	CS1605
	海外事情6		4	1	CS1606
	海外事情7		4	1	CS1607
	海外事情8		4	1	CS1608
	海外事情9		4	1	CS1609
	海外事情10		4	1	CS1610
	海外事情11		2	1	CS1611
	海外事情12		2	1	CS1612
	海外事情13		2	1	CS1613
	海外事情14		2	1	CS1614
	海外事情15		2	1	CS1615
	海外事情16		2	1	CS1616
	海外事情17		2	1	CS1617
	海外事情18		2	1	CS1618
	海外事情19		2	1	CS1619
	海外事情20		2	1	CS1620
	社会事情		2	2	CS2354
	会社法		2	3	CS3333
	所得税法		2	3	CS3334
	法人税法		2	3	CS3335
	情報基礎演習		2	2	CS2355
	情報リテラシー		2	2	CS2356
	情報社会論		2	3	CS3336
	情報と職業		2	2	CS2357
	情報ビジネス論		2	2	CS2358
	職業指導		2	2	CS2359
ビ ジ ネ ス 外 国 語	ビジネス英語1		2	2	CS2360
	ビジネス英語2		2	2	CS2361
	ビジネス英語演習1		2	2	CS2362
	ビジネス英語演習2		2	2	CS2363
	基礎ビジネス中国語1		2	1	CS1301
	基礎ビジネス中国語2		2	1	CS1302
	ビジネス中国語1		2	2	CS2364
	ビジネス中国語2		2	2	CS2365
	基礎ビジネス韓国語1		2	1	CS1303
	基礎ビジネス韓国語2		2	1	CS1304
	ビジネス韓国語1		2	2	CS2366
	ビジネス韓国語2		2	2	CS2367

卒業要件

ビジネスマネジメントコース・スポーツマネジメントコース

NGU教養 スタンダード科目	キリスト教		4単位以上	34単位以上
	自己理解と自己開発		6単位以上	
	社会的教養	人間理解、社会理解、自然理解 歴史文化理解、環境理解 身体理解、地域理解	16単位以上	
		教職※1		
	言語とコミュニケーション		6単位以上	
	情報理解		2単位以上	
学部共通科目			16単位	
学科選択科目	①コース基礎科目		10単位以上	50単位以上
	②展開科目、実践の視点、専門能力開発プログラム、関連科目、及びビジネス外国語		40単位以上	
自由選択科目(フリーゾーン)※2			24単位以上	
合計			124単位以上	

※1 教職課程加入者のみ履修可。8単位までは社会的教養の単位とすることができる。

※2 NGU教養スタンダード科目、学部共通科目、学科選択科目、オープン科目を問わない自由な選択

◆コース基礎科目

- ・ビジネスマネジメントコース：A類から10単位以上
- ・スポーツマネジメントコース：A類から4単位以上、B類から6単位以上

◆展開科目

「スポーツ・マネジメント」はスポーツマネジメントコースのみ履修可
(ビジネスマネジメントコースは履修不可)

商学部 経営情報学科

教育目標（学則第3条の2より）

経営情報学科は、商学、経営学を基礎に、高度情報化および本格的な国際化の進展に的確に対応できる専門知識を修得し、社会の多様なニーズに応えられる実践的、実務的「実力」を身につけ、「実力派ビジネスパーソン」として活躍する人材の育成を教育目標とする。

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

経営情報学科に所属する学生は、学部および学科のカリキュラムを履修、学修することをおして、以下の能力が獲得できる。これに併せて、卒業に必要とされる所定の単位と要件を満たした学生には商学部から学士（商学）の学位が授与される。

知識・技能

- 1) 建学の精神に依拠する教育を基盤とするカリキュラムの履修により、グローバルな視点から豊かな倫理観と教養に基づいて行動することができる。
- 2) 商学、経営情報学を深く学ぶことによって、それらを柔軟に活用することができる能力を身に付けることができる。
- 3) 修得した知識や技能を活用して、経済社会の各分野において革新を担うことができる能力を身に付けることができる。

思考力・判断力・表現力

- 1) 自ら課題を設定し、必要な情報を収集・分析して、論理的な思考力によって課題を解決できる能力を身に付けることができる。
- 2) 自己の課題解決に対する取り組みおよびその成果を論理的に他者に説明する方法論および能力を身に付けることができる。

主体性・多様性・協働性

- 1) 企業および地域社会が抱える諸問題への高い関心とそれらの解決に対する意欲を持ち、経営情報学における多様な理論・実践を学修し、それらを柔軟に組み合わせて活用して課題を探究し、克服していく能力を身に付けることができる。
- 2) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を身に付けることができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

経営情報学科における専門教育の展開については、1年次に商学部教育の基盤となる必修科目を履修する。経営情報学の各分野について基礎から応用まで段階的かつ体系的に学修する。さらに、地域商業活動活性化、国際マーケティングおよび顧客満足とサービスに焦点を当て、これらの分野における理論と実践を学修するとともに、ICT（情報通信技術）活用について学修する。

教育内容

- 1) カリキュラムは、成熟した市民としての基礎的素養を修得する《NGU 教養スタンダード科目》、商学部の2学科に共通して必要な知識・技能を修得する《学部共通科目》、経営情報学科の専門性を深める《学科選択科目》から学ぶ。

- 2) ≪学部共通科目≫においては、商学部の専門教育の基盤を身に付けるために「商学総論 1・2」「経営学総論 1・2」「簿記入門」「会計学入門」および「経済学 1・2」を履修する。
- 3) ≪学科選択科目≫は、総合、情報、マネジメントおよび展開科目から構成されている。
- 4) ≪総合≫では、情報による革新の理論と実践を学修するための商学・経営学の科目、経営情報の実習などを履修する。さらに、「専門演習」が配置されている。
- 5) ≪情報≫では、情報および情報システムを活用した経営管理および経営革新の理論と実践を身に付ける。
- 6) ≪マネジメント≫では、地域商業活動活性化ならびに地域ブランド、国際マーケティングおよび顧客満足・顧客サービスに関する科目を履修する。
- 7) ≪展開科目≫は、経営実践の経験および実務家による指導のための科目、ビジネスにおいて役に立つ英語・韓国語・中国語を学修する科目を設けている。

教育方法

- 1) 学生が主体性を持って、自己の課題を設定し、他者および地域の人々との協働のもと、課題解決に努める講義を実施する。
- 2) ICT を経営やビジネスに活用するための知識および技能を修得するための少人数講義を設ける。
- 3) それぞれの授業においてあらかじめ示された教育目標を達成させるとともに、個々の学生の学習進度に即して適切な課題を与えることで、主体的な学習を促す。
- 4) 講義科目においては、小テストやレポートを通して受講生の学習状況や理解度の把握に努める。演習科目については、担当教員が学生相互の議論を誘導し、集団討議や成果発表を行う。
- 5) 経営実践に関する知識の獲得およびその定着を促進するために、実社会を見聞する機会を設ける。

学修成果の評価

- 1) 各科目の評価は、原則として平常点および期末試験等による総合評価により行われる。
- 2) 各科目について、その内容、到達目標、成績の評価方法と基準をシラバス等で公開して学生に周知した上で、公正で厳格な成績評価を行う。

アドミッション・ポリシー（入学受入方針）

求める学生像

経営情報学科では、経営情報学における知識および技能を修得し、それらを活用して産業および企業の革新に寄与することを希求する者、具体的な下記の要件を備えた者を入学者として受け入れの対象とする。

- 1) 建学の精神に沿った豊かな人間性と誠実さをもち、社会の役に立つことを実行しようとする高い志があること
- 2) 現実の経済および企業経営の実践に対する探究心が旺盛で、国際的視野に富み、進んで真理を探究する意欲と能力があること
- 3) 問題解決能力を身につけさせる本学部教育方針のもとで、学習に必要な基礎的知識・論理的思考力・コミュニケーション能力を備えていること
- 4) 本学部で修得した専門的知識および実践的問題解決能力を、国際社会および地域社会の将来に役立てようという強い意志をもつこと

入学時までに身に付けるべき知識、能力等

- ・ 社会関連科目を履修し、経済および企業経営に関する基礎知識を習得していることが望まれる。
- ・ 情報関連科目を履修し、ICT の経済・経営への影響を理解していることが望まれる。

- ・国語などの学習によって、筋道の立った文章が書けることが望まれる。

入学者選抜

- 1) 公募型推薦入試は、高等学校等における学習意欲や学習態度を基礎資料とし、面接により入学者を選抜する。
- 2) 上記以外の推薦入試として、本学第1志望者を対象とし、書類審査（調査書等）、面接、小論文により、高等学校でのスポーツや文化・芸術活動等を評価する制度もある。
- 3) 特別奨学生入試は、書類審査（調査書等）、学力試験および面接により、入学者を選抜する。
- 4) 一般入試およびセンター試験利用入試では、学力試験、大学センター試験による学力検定を経て入学者として選抜する。

カリキュラムの概要

経営情報学科の特色

経営情報学科では、企業成長や仕事に実際に役立つ情報技術の活用、および企業業績の向上をもたらす国際ビジネスの実践を重視し、これらの知識と技能を効果的かつ効率的に修得できるように実習形式の授業を多く取り入れています。また情報関連資格取得や国際ビジネスパーソンとしての素養の涵養に力を注いで、学生が自信をもって実社会に進めるようにしています。このような教育目標を効果的かつ効率的に達成するための諸科目を配置しています。

経営情報学科の科目

経営情報学科のカリキュラムは、既述の《NGU 教養スタンダード科目》と《専門科目》に大別され、さらに《専門科目》は《学部共通科目》と《学科選択科目》という2つの科目区分によって構成されます。

専門科目

- ① 《学部共通科目》には、「商学総論1・2」「経営学総論1・2」「簿記入門」「会計学入門」および「経済学1・2」を配置しています。いずれも必修科目であり、商学の基礎を学修します。
- ② 学科選択科目は、《総合》《情報》《マネジメント》《展開科目》から構成されていますので、各自の学修上の関心に応じて体系的にかつバランスよく履修することが重要です。《情報》では、情報および情報システムによる経営管理・経営革新の理論と実践について学修する諸科目を配置しています。《マネジメント》では、企業経営について、社会、地域および地球規模などのネットワークの視点から、ICT活用による企業の持続的発展への貢献について学修するべく、3つの科目群（地域ブランドに関する学修、リテール・マーケティングの国際化を中心にして、国際ビジネスの展開に関する学修、サービス・ホスピタリティ戦略に関する学修）を配置しています。《展開科目》では、経営実践、ビジネス外国語などを学修する諸科目を配置しています。
 - a) 《総合》は、「専門演習」（ゼミ）と商学・経営学の基盤科目から編成されています。「専門演習」（ゼミ）は、学生各自が関心を有する専門的な内容を学び取るために、2年間にわたって少人数でテーマに関する調査、報告、議論、講読をおこないます。学生は、「専門演習」（ゼミ）における学修・研究の成果を発表するために卒業論文を作成・提出します。
 - b) 《情報》には「情報ビジネス論」「情報リテラシー」などを配置しています。
 - c) 《マネジメント》には、「地域ブランド論」「国際マーケティング論」「ホスピタリティ論」などが配置されています。
 - d) 《展開科目》は、「ビジネス英語」「ビジネス中国語」「ビジネス韓国語」などを配置しています。

カリキュラム上の特色

学科選択科目は次の科目群から構成されています。自分の学修プラン、進路に応じて履修科目を選択してください。

- 1) 《総合》には、情報による経営革新の理論と実践を学修するために必要な商学・経営学の諸科目、経営情報の実習などが

配置されています。さらに「専門演習」（ゼミ）が配置されています。

- 2) 《情報》では、情報および情報システムを活用した経営管理ならびに経営革新の理論と実践を身につけます。
- 3) 《マネジメント》では、地域ブランド、国際マーケティング、およびホスピタリティに関する科目を配置しており、上記の2)に加えて、2つ目の専門的知識を身につけます。各自、学修上の関心に従って履修科目を選択してください。
- 4) 《展開科目》は、経営実践、ビジネス外国語などの諸科目を配置していますので、自分の学修プランに従って履修科目を選択してください。

他学科開講科目の履修

商学部では他学科科目の履修が認められており、《自由選択科目（フリーゾーン）》として卒業要件にも含まれます。履修には本人の申し出が必要となります。履修登録期間または履修登録変更期間に教務課窓口で申し込んでください。

学部専門科目への認定

社会で役立つ実践的な教育を重視している商学部では、さまざまな資格取得のためのバックアップをしています。教育課程（カリキュラム）の中で、各種の資格検定試験に向けての指導をおこなうほか、学部が指定した資格検定試験に合格した場合には、みなさんからの申請にもとづき、所定の単位を認定（R 評価として認定）する制度があります。

次に掲げる簿記検定試験および税理士試験の合格者または科目合格者については、簿記の授業科目の単位を修得したものとして認定しています。認定を希望する学生は定められた期間内に検定合格を証明する通知・証書原本と、そのコピーを持参し、教務課に申請してください。

- この場合認定される授業科目の履修登録は不要です。
- 教職課程加入者（希望者）については、教員免許申請に「認定」科目を含められないため、教員免許要件上必修である「簿記1・2」は認定しません。
- 経営情報学科生は他学科科目の履修として、「自由選択」で商学科科目の「簿記1～6」の認定となります。
- 申請できるものは、申請日以前2年以内に取得したものにかぎります。

（ただし、入学前に取得した資格等は、入学年度にかぎり受けつけます。翌年度以降の申請は受けつけません。）

	単位認定の対象となる資格検定試験など	認定される 授業科目	認定される 単位数合計
1	日本商工会議所簿記検定試験2級	簿記1・2（各2単位）	4単位
2	全国経理学校協会簿記能力検定試験1級（全科目）	簿記1・2（各2単位）	4単位
3	全国商業高等学校協会簿記実務検定試験1級（全科目）	簿記1・2（各2単位）	4単位
4	日本商工会議所簿記検定試験1級	簿記1～4（各2単位）	8単位
5	全国経理学校協会簿記能力検定試験上級	簿記1～4（各2単位）	8単位
6	税理士試験簿記論	簿記1～6（各2単位）	12単位

演習科目について

「基礎セミナー」

1年次配当の必修科目です。授業は少人数でおこなわれ、導入・基礎教育を主要な目的にします。大学では、自分で調べ、考え、整理し、論理的に文章をまとめることが求められるようになります。「基礎セミナー」では、大学での学習方法、レポートの書き方、個人やグループでおこなう発表方法などを身につけます。さらに、学生生活を送る上での基本的な心構え（ソーシャル・スチューデント・スキル）を養います。

「専門演習」

1) 専門演習とは

「専門演習」(ゼミ)は、3・4年次の2年間受講し、社会で活躍できる知識の獲得および人格形成に向けた「学び」を展開します。ゼミは少人数でおこない、専門的なテーマについて深く研究します。さらに、学生の研究発表を中心にし、教員とゼミ生との間、ゼミ生間のディスカッションを活発におこないます。かくして、ゼミは切磋琢磨の場であり、その結果、ゼミ生の間には強い仲間意識が醸成されます。

「専門演習」(ゼミ)には、多種多様なゼミナールを配置し、ほぼ全員がいずれかのゼミに加入しています。詳細は、秋学期におこなう「専門演習」(ゼミ)に関するガイダンスなどで指示・連絡します。

2) 専門演習の履修にあたって

1. ゼミの選択 : 「専門演習」(ゼミ)は学科専門教育の仕上げにあたる部分であり、主体的で積極的な研究態度が要請されます。自己の研究課題を考え、各ゼミのテーマを調べ、各自に有意義と思われる「専門演習」(ゼミ)に応募してください。
2. 定員 : 担当する教員数によって変わりますが、通常1ゼミ15名程度を募集します。
3. 募集 : 2年次秋学期にCCSより募集がありますので、案内を見逃さないように注意しましょう。
 - (1) 選考
各「専門演習」(ゼミ)指導教員による書類選考、または面接による選考がおこなわれます。希望の「専門演習」(ゼミ)がいずれも定員超過の場合、他の「専門演習」(ゼミ)に所属が決定する場合があります。
 - (2) 発表 11～12月
4. 資格 : 2年次終了時において総修得単位数が40単位に満たない時はゼミを履修できません。
選考において合格(内定)していても、内定は「取り消し」となります。
5. 卒業論文 : 2年間の指導を受けながら、4年次にはゼミの研究を論文(通称ゼミ論文)にまとめます。
この論文を担当教員に提出することで、2年間の研究の評価を受け、単位が認定されます。

履修モデル

経営情報学科

学部共通科目

「商学総論1・2」「経営学総論1・2」「簿記入門」「会計学入門」および「経済学1・2」

学科選択科目

以下の分野で多くの科目が用意されています。

●総合 ●情報 ●マネジメント ●展開科目

- ① 《総合》は、商学・経営学および情報マネジメントの基礎科目から構成されていますので、バランスよく履修してください。
- ② 《情報》は、理論と技能を身につける科目を配置していますので、両面をバランスよく学修してください。
- ③ 《マネジメント》は、3つの分野(地域ブランド、国際マーケティング、ホスピタリティ)から構成されていますので、各自の学修プランおよび進路に応じて履修科目を選択してください。
- ④ さらに《展開科目》は、実践の視点、関連科目、ビジネス外国語に関する諸科目を配置しています。各自、学修上の関心などに従って履修科目を選択してください。

卒業要件

卒業要件単位の修得

商学部のカリキュラム表にもとづいて必要な単位数（124 単位）以上を修得しなければなりません。

卒業要件単位数

上記の、学則第 16 条に規定する単位数（124 単位）を卒業要件単位数といいます。それぞれの単位数には必修科目を含みます。授業科目表と照らして区分ごとの要件をよく確認し、4 年間の履修計画をしっかりと立ててください。

〈経営情報学科〉

NGU教養 スタンダード科目	キリスト教		4単位以上	34単位以上
	自己理解と自己開発		6単位以上	
	社会的教養	人間理解、社会理解、自然理解 歴史文化理解、環境理解 身体理解、地域理解	16単位以上	
	教職※ ¹			
	言語とコミュニケーション		6単位以上	
	情報理解		2単位以上	
学部共通科目			16単位	
学科選択科目	①総合	20単位以上	50単位以上	
	②情報	20単位以上		
	③マネジメント及び展開科目	10単位以上		
自由選択科目(フリーゾーン)※ ²			24単位以上	
合計			124単位以上	

※¹ 教職課程加入者のみ履修可。8単位までは社会的教養の単位とすることができる。

※² NGU教養スタンダード科目、学部共通科目、学科選択科目、オープン科目を問わない自由な選択

授業科目名		単位数		配当年次	ナンバリング
		必修	選択		
キリスト教					
キリスト教概説	2		1	AV1101	
キリスト教教学	2		1	AV1102	
キリスト教と文学		2	2	AV2301	
キリスト教と文化		2	2	AV2302	
キリスト教倫理		2	2	AV2303	
キリスト教史		2	1	AV1301	
自己理解と自己開発					
基礎セミナー	2		1	AW1101	
発展セミナー		2	1	AW1301	
キャリアデザイン1a		2	1	AW1302	
キャリアデザイン1b		2	1	AW1303	
キャリアデザイン2a		2	2	AW2301	
キャリアデザイン2b		2	2	AW2302	
キャリアデザイン3a		2	3	AW3301	
キャリアデザイン3b		2	3	AW3302	
能力開発1		2	1	AW1601	
能力開発2		2	1	AW1602	
能力開発3		2	1	AW1603	
ボランティア学		2	1	AW1304	
ボランティア演習		2	1	AW1305	
インターンシップ1		2	1	AW1306	
インターンシップ2		2	1	AW1307	
社会的教養					
人間理解	哲学		2	1	AX1301
	哲学史		2	1	AX1302
	心身関係論		2	1	AX1303
	日本文学		2	1	AX1304
	日本文学史		2	1	AX1305
	心理学概論		2	1	AX1306
	現代日本文化論		2	1	AX1307
	比較文化入門		2	1	AX1308
	多文化共生論		2	1	AX1309
	文明論		2	1	AX1310
	宗教と人間		2	1	AX1311
	聖書と人間		2	1	AX1312
	キリスト教人間学		2	2	AX2301
	死生学		2	1	AX1313
臨床心理学		2	1	AX1314	
社会理解	社会学入門		2	1	AX1315
	宗教社会学		2	1	AX1316
	比較宗教学		2	1	AX1317
	日本国憲法		2	1	AX1318
	現代社会と法律		2	1	AX1319
	暮らしと法律		2	1	AX1320
	現代社会と経済		2	1	AX1321
	経済の仕組み		2	1	AX1322
	企業と社会		2	1	AX1323
	国際関係論入門		2	1	AX1324
	国際政治学		2	1	AX1325
	国際社会入門		2	1	AX1326
	国際社会問題		2	1	AX1327
	現代社会と教育		2	1	AX1328
平和学入門		2	1	AX1329	
人権と社会		2	1	AX1330	
自然理解	数学		2	1	AX1331
	数理科学		2	1	AX1332
	基礎統計学		2	1	AX1333
	実用統計学		2	1	AX1334
	化学		2	1	AX1335
	化学と社会		2	1	AX1336
	生物学		2	1	AX1337
	地球科学概論		2	1	AX1338
	地球物理学概論		2	1	AX1339
	人類学		2	1	AX1340
	物理学		2	1	AX1341
	科学史		2	1	AX1342
	生命倫理		2	1	AX1343

授業科目名		単位数		配当年次	ナンバリング
		必修	選択		
歴史文化理解	日本史		2	1	AX1344
	日本思想史		2	1	AX1345
	日本文化史		2	1	AX1346
	中国文化入門		2	1	AX1347
	英米文化入門		2	1	AX1348
	文化人類学入門		2	1	AX1349
	世界の近現代史		2	1	AX1350
	世界史		2	1	AX1351
	考古学入門		2	1	AX1352
	陶芸論		2	1	AX1353
環境理解	陶芸演習		2	1	AX1354
	環境科学		2	1	AX1355
	生態学		2	1	AX1356
	地域生態論		2	1	AX1357
	地球環境学		2	1	AX1358
身体理解	健康の科学		2	1	AX1359
	スポーツの科学		2	1	AX1360
	スポーツ初級A		1	1	AX1361
	スポーツ初級B		1	1	AX1362
	スポーツ中級A		1	2	AX2302
	スポーツ中級B		1	2	AX2303
	スポーツ上級A		1	3	AX3301
	スポーツ上級B		1	3	AX3302
地域理解	地域商業まちづくり学		2	1	AX1363
	歴史観光まちづくり学		2	1	AX1364
	減災福祉まちづくり学		2	1	AX1365
	地域商業まちづくり演習		2	1	AX1366
	歴史観光まちづくり演習		2	1	AX1367
	減災福祉まちづくり演習		2	1	AX1368
	上級まちづくり演習		2	2	AX2304
言語とコミュニケーション					
日本語表現		2		1	AJ1101
日本語表現上級			2	1	AJ1301
基礎英語1		1		1	AJ1102
基礎英語2		1		1	AJ1103
英会話1		1		1	AJ1104
英会話2		1		1	AJ1105
実用英語演習1			1	2	AJ2301
実用英語演習2			1	2	AJ2302
情報英語演習1			1	2	AJ2303
情報英語演習2			1	2	AJ2304
ドイツ語1			1	2	AJ2305
ドイツ語2			1	2	AJ2306
フランス語1			1	2	AJ2307
フランス語2			1	2	AJ2308
スペイン語1			1	2	AJ2309
スペイン語2			1	2	AJ2310
中国語1			1	2	AJ2311
中国語2			1	2	AJ2312
韓国語1			1	2	AJ2313
韓国語2			1	2	AJ2314
手話入門			1	1	AJ1302
手話基礎			1	1	AJ1303
情報理解					
情報処理基礎		2		1	AZ1101
情報概論			2	2	AZ2301
教職					
教職論			2	1	BQ1401
教育原理			2	1	BQ1402
教育心理学概論1			2	1	BQ1403
教育心理学概論2			2	1	BQ1404
教育制度論			2	1	BQ1405
特別活動論			2	2	BQ2401
教育の方法と技術			2	2	BQ2402
道徳教育論			2	2	BQ2403
生徒・進路指導論			2	2	BQ2404
教育相談			2	2	BQ2405

経営情報学科 専門科目

授業科目名		単位数		配当 年次	ナンバ リング
		必修	選択		
学部 共通 科目	商学総論1	2		1	CT1101
	商学総論2	2		1	CT1102
	経営学総論1	2		1	CT1103
	経営学総論2	2		1	CT1104
	簿記入門	2		1	CT1105
	会計学入門	2		1	CT1106
	経済学1	2		1	CT1107
	経済学2	2		1	CT1108
学科 選択 科目	総合	専門演習	12	3・4	CT3301・CT4301
		経営数学入門	2	1	CT1301
		ホスピタリティ入門セミナー	2	1	CT1302
		マーケティング論1	2	2	CT2301
		マーケティング論2	2	2	CT2302
		金融基礎論	2	2	CT2303
		金融システム論	2	2	CT2304
		コンピュータ会計演習	2	3	CT3302
		財務管理論	2	2	CT2305
		コーポレート・ファイナンス	2	2	CT2306
		経営戦略論	2	2	CT2307
		経営管理論	2	2	CT2308
		経営組織論	2	2	CT2309
		現代企業論	2	2	CT2310
		経営史	2	2	CT2311
		流通システム	2	2	CT2312
		流通論	2	2	CT2313
		国際会計論	2	3	CT3303
		生産管理論	2	3	CT3304
		人的資源管理論	2	3	CT3305
		中小企業論	2	3	CT3306
		組織行動論	2	3	CT3307
		イノベーション論	2	3	CT3308
		NPOマネジメント論	2	3	CT3309
		経営情報演習1	2	2	CT2314
		経営情報演習2	2	2	CT2315
		国際経営演習	2	2	CT2316
	情報	情報ネットワーク論	2	1	CT1303
		アルゴリズム基礎演習	2	2	CT2317
		コンテンツビジネス論	2	2	CT2318
		マルチメディア入門	2	1	CT1304
		マルチメディア演習	2	1	CT1305
		マルチメディア表現1	2	2	CT2319
		マルチメディア表現2	2	2	CT2320
		情報ビジネス論	2	2	CT2321
		情報と職業	2	2	CT2322
		プレゼンテーション技法	2	2	CT2323
		Webデザイン	2	2	CT2324
		情報文化論	2	1	CT1306
		情報リテラシー	2	2	CT2325
		情報科教育法	4	2	CT2326
		情報技術者演習1	2	2	CT2327
		情報技術者演習2	2	2	CT2328
		情報技術者演習3	2	2	CT2329
		プログラミング入門	2	1	CT1307
		プログラミング1	2	2	CT2330
		プログラミング2	2	2	CT2331
		オペレーションマネジメント	2	2	CT2332
		データベース概論	2	2	CT2333
		デジタルファブリケーション	2	2	CT2334
		経営シミュレーション	2	2	CT2335
		経営データマイニング	2	2	CT2336
		情報処理演習	2	3	CT3310
		情報システム設計演習	2	3	CT3311
		オペレーションズリサーチ	2	3	CT3312
		経営情報システム論1	2	3	CT3313
		経営情報システム論2	2	3	CT3314
		インターネットマーケティング	2	3	CT3315
		情報社会論	2	3	CT3316

授業科目名		単位数		配当 年次	ナンバ リング
		必修	選択		
学科 選択 科目	マネジメント	地域ブランド論	2	2	CT2337
		地域ブランド演習1	2	2	CT2338
		地域ブランド演習2	2	2	CT2339
		国際経営論1	2	2	CT2340
		国際経営論2	2	2	CT2341
		新興国ビジネス論	2	2	CT2342
		国際マーケティング論	2	2	CT2343
		ロジスティクス	2	2	CT2344
		国際流通論	2	3	CT3317
		外国為替論	2	3	CT3318
		国際金融論	2	3	CT3319
		証券投資論	2	3	CT3320
		ポートフォリオ・マネジメント論	2	3	CT3321
		異文化ビジネス	2	2	CT2345
		アジアビジネス事情	2	2	CT2346
		国際経済論	2	3	CT3322
		サービスマネジメント	2	2	CT2347
		ホスピタリティ論	2	1	CT1308
		ビジネスマナー1	2	2	CT2348
		ビジネスマナー2	2	2	CT2349
	実践の視点	経営実践特講1	2	2	CT2350
		経営実践特講2	2	2	CT2351
		経営管理特講1	2	2	CT2352
		経営管理特講2	2	2	CT2353
	展開科目	社会事情	2	2	CT2354
		海外事情1	4	1	CT1601
		海外事情2	4	1	CT1602
		海外事情3	4	1	CT1603
		海外事情4	4	1	CT1604
		海外事情5	4	1	CT1605
		海外事情6	4	1	CT1606
		海外事情7	4	1	CT1607
		海外事情8	4	1	CT1608
		海外事情9	4	1	CT1609
		海外事情10	4	1	CT1610
		海外事情11	2	1	CT1611
		海外事情12	2	1	CT1612
		海外事情13	2	1	CT1613
		海外事情14	2	1	CT1614
		海外事情15	2	1	CT1615
		海外事情16	2	1	CT1616
		海外事情17	2	1	CT1617
		海外事情18	2	1	CT1618
		海外事情19	2	1	CT1619
		海外事情20	2	1	CT1620
	ビジネス外国語	経営情報特講	2	1	CT1309
		職業指導	2	2	CT2355
		ビジネス英語1	2	2	CT2356
		ビジネス英語2	2	2	CT2357
		ビジネス英語演習1	2	2	CT2358
		ビジネス英語演習2	2	2	CT2359
		基礎ビジネス中国語1	2	1	CT1310
		基礎ビジネス中国語2	2	1	CT1311
		ビジネス中国語1	2	2	CT2360
		ビジネス中国語2	2	2	CT2361
		基礎ビジネス韓国語1	2	1	CT1312
		基礎ビジネス韓国語2	2	1	CT1313
		ビジネス韓国語1	2	2	CT2362
		ビジネス韓国語2	2	2	CT2363

卒業要件

NGU教養 スタンダード科目	キリスト教	4単位以上	34単位以上
	自己理解と自己開発	6単位以上	
	社会的教養	16単位以上	
	人間理解、社会理解、自然理解 歴史文化理解、環境理解 身体理解、地域理解		
	教職※1	6単位以上	
	言語とコミュニケーション 情報理解	2単位以上	
学部共通科目		16単位	
学科選択科目	①総合	20単位以上	50単位以上
	②情報	20単位以上	
	③マネジメント及び展開科目	10単位以上	
自由選択科目(フリーゾーン)※2			24単位以上
合計			124単位以上

※1 教職課程加入者のみ履修可。8単位までは社会的教養の単位とすることができる。

※2 NGU教養スタンダード科目、学部共通科目、学科選択科目、オープン科目を問わない自由な選択

オープン科目（こどもスポーツ教育学科、リハビリテーション学部を除く）

現代社会の諸問題はさまざまな学問分野が絡み合っており、学部の枠を越えた幅広い学際的な知識と能力が必要です。そこで、幅広い視野と柔軟な思考力を兼ね備えた人材を育成するため、他学部が開講する《専門科目》を卒業要件単位として履修できるオープン科目制度を設けています。

多くの学部で専門教育科目の一部をオープン科目として他学部公開するとともに、履修したオープン科目の単位を卒業所要単位として認定しています。オープン科目を学ぶことにより、学びの視野を広げ、専門分野の知識をいっそう深めることができます。

なお、オープン科目を履修する場合は、自分が所属する学部において必要な科目履修に支障をきたさないよう、授業時間割、履修上限単位数などに十分な注意を払うようにしてください。

オープン科目対象科目

- オープン科目は、各学部で指定された科目（開放科目）にかぎられます。
- オープン科目は、入学した年度によって異なります。履修を希望する場合は、該当する入学年度の「オープン科目（他学部履修科目）一覧」（毎年3月中旬頃、CCS 掲示板に掲示します）を確認の上、CCS で該当する科目のシラバスを照会し、担当者、曜日・時限、講義内容などを確認してください。また、授業教室については、授業を公開する学部の時間割を参照してください。
- 自分の履修するカリキュラムにある科目と同一名称の科目がオープン科目にある場合、その科目は履修することはできません。
- オープン科目は年度によって変更となる場合があります。

※ なお、スポーツ健康学部こどもスポーツ教育学科・リハビリテーション学部はオープン科目の対象としていません。

履修可能学部・履修条件・履修可能単位数

学部	履修条件	履修可能単位数
経済学部	・2年生以上であること ・前年までのGPAが2.5以上であること ・2年次：30単位以上、3年次：60単位以上、4年次90単位以上を修得していること	1年間で4科目8単位まで履修可能 4年間で12単位まで
現代社会学部	・2年生以上であること ・前年までのGPAが2.0以上であること	1年間で2科目4単位まで履修可能 4年間で8単位まで
商学部	・2年生以上であること ・前年までのGPAが2.0以上であること	制限なし
法学部	・2年生以上であること ・前年までのGPAが2.5以上であること	1年間で4科目8単位まで履修可能 4年間で12単位まで
外国語学部	・2年生以上であること ・前年までのGPAが2.0以上であること	半期2単位、年間4単位まで
国際文化学部	・2年生以上であること ・前年までのGPAが2.0以上であること	1年間で2科目4単位まで履修可能 4年間で8単位まで
スポーツ健康学部 スポーツ健康学科	・2年生以上であること ・前年までのGPAが2.0以上であること	半期2科目まで

単位認定

《自由選択科目（フリーゾーン）》の科目として認定します。

履修方法

オープン科目の履修希望者は以下の手順で申し込みをおこなってください。

- ① 時間割開示時に、オープン科目一覧表で履修希望科目を決定する。
- ② 教務課窓口または瀬戸キャンパス総合事務部に、「オープン科目履修願」を記入し、提出する（オープン科目については CCS から直接履修登録できません）。

なお、受付期間はオープン科目一覧表とともに CCS に掲示します。受付期間以外は一切受けつけできません。

- ③ 受付期間終了後、履修希望人数を集計、調整をおこない履修登録画面へ反映させます。

注意事項

- 履修を検討したい科目のシラバスを必ず読んでから受講してください。
- オープン科目の履修はセメスターごとの履修制限単位数の規則に従います。
- オープン科目対象科目の開講曜日時限は、科目を提供している学部の日割にて確認してください。
- すべての科目に受講者数の定員を設けています。履修は、科目を提供している学部の学生を優先しますので、必ずしも履修願に記入した科目すべてが履修できるとはかぎりません。
- オープン科目の履修の取り消し、変更は一切できません。

他大学との単位互換

愛知学長懇話会の単位互換

愛知学長懇話会には、愛知県内すべての４年制大学が加盟しています。愛知学長懇話会において締結された「単位互換に関する包括協定」に加盟している大学に所属する学生は、他の大学で開講されるさまざまな科目を履修することができ、かつ、履修した科目が在籍する大学の単位として認められる制度です。愛知県内の大学に在学するメリットのひとつとしてぜひ活用してください。

なお、単位互換向けに開放される科目の受講料は無料ですが、科目によっては実験・実習・研修などの実費が必要となる場合があります。詳細は、愛知学長懇話会のホームページ（<http://aichi-gakuchou.jimu.nagoya-u.ac.jp/syllabustop>）を確認してください。

注意事項

派遣履修生資格	- 各学部２年生以上 (以下、外国語学部で追加する資格) - 履修時に、学部卒業要件における修得単位数の合計が４０単位以上 - 上記修得単位のGPAがおおむね2.5以上
履修期間	１セメスターまたは１学年とし、再応募することができる。
履修可能単位数	１セメスターあたり６単位、もしくは１学年あたり１２単位までとする。ただし、同一期間内で本学における履修とあわせて本学「履修規程」第６条の履修制限内とする。
認定可能単位数	学則第１７条の定めにより他の大学における授業科目の履修として、６０単位を超えない範囲で単位を認定する。

※ ３月頃に、CCSにて希望者の募集をおこないます。

大学連携による「知域」拡大プロジェクトの単位互換

北海道・関東・東海・近畿の大学連携による「知域」拡大プロジェクトは、加盟する６大学の開放科目を、eラーニングシステム「TIES（タイズ）」を利用して受講し、大学の単位として認められる制度です。詳細は、北海道・関東・東海・近畿の大学連携による「知域」拡大プロジェクトのホームページ（http://www.tiesnet.jp/link/renkei_gp）を確認してください。

注意事項

派遣履修生資格	各学部２年生以上
履修期間	相手先の連携大学で履修することのできる授業科目の開講学期とする。
履修可能単位数	１年度につき１０単位以内とする。ただし、同一期間内で本学における履修とあわせて本学「履修規程」第６条の履修制限内とする。
認定可能単位数	本制度により認定できる単位数は合計３０単位を上限とする。ただし学則第１７条から１９条に規定のある単位認定とあわせて、全体で６０単位の範囲内とする。

※ ４月上旬頃に、CCSにて希望者の募集をおこないます。

ぎふCOC+事業推進コンソーシアムの単位互換

本学は「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に取り組んでいます。（P59 参照）その一環として「ぎふCOC+事業推進コンソーシアム」に参加しており、参加大学間の相互の協力・交流・連携並びに各大学の特色ある授業科目の開放によって、教育課程の充実、学生の幅広い視野の育成、学習意欲の向上を図ることを目的として、単位互換協定を結んでいます。

＜参加大学＞岐阜大学・中部学院大学・中部大学・日本福祉大学・名古屋学院大学

主に岐阜県を題材とした科目が中心となりますが、各大学の個性を活かした実践的な学びを通じて、社会人基礎力を向上させることができます。

詳細は、本学社会連携センターのホームページ（<https://www.ngu.jp/collaboration/>）を確認してください。

注意事項

派遣履修生資格	各学部1年生以上。ただし1年生は秋学期のみとする。
履修期間	相手先の連携大学で履修することのできる授業科目の開講学期とする。
履修可能単位数	1セメスターあたり4単位、もしくは1学年あたり8単位までとする。ただし、同一期間内で本学における履修とあわせて本学「履修規程」第6条の履修制限内とする。
認定可能単位数	本制度により認定できる単位数は合計30単位を上限とする。ただし学則第17条から19条に規定のある単位認定とあわせて、全体で60単位の範囲内とする。